

油 津 港

油津港の概要

- ◎所在地 宮崎市
- ◎港湾区域告示 昭和38年6月
- ◎港湾区域面積 1,983ha
- ◎重要港湾指定 昭和48年4月
- ◎入港船舶数 2,166 隻(R6)
- ◎入港船舶総トン数 4,614 千トン(R6)
- ◎取扱貨物量 937 千トン(R6)
- (うち外貨物524千トン)

宮崎県南部の日南市に位置する油津港は、昭和27年2月に重要港湾の指定を受けました。その後、港湾計画が策定され、岸壁や臨港道路・防波堤等整備、石油基地の造成や堀川運河の環境整備が実施されました。

その後、貨物量の増大や船舶の大型化に対応した港湾機能の整備が進められ、近年では、平成9年10月に無線検疫対象港の指定を受け、平成10年9月には東地区に水深12mの岸壁が完成し、さらに平成12年4月には植物検疫港の指定を受けるなど、ハード・ソフト両面での充実が図られています。

現在、関東・関西との国内定期貨物航路（神戸フィーダーを含む）が開設されるなど、県南地域における物流拠点としてのさらなる発展が期待されています。

●油津港からの定期航路ネットワーク



【令和7年4月時点】

油津港港湾計画（平成19年11月改訂）（令和4年3月一部変更）

- 地域の産業を支える外・内貿物流機能の強化
- 既存埠頭再編成等による埠頭利用の効率性、利便性等の向上
- 港内の静穏と船舶航行の安全性を確保
- 人々が港や海に親しめる親水空間の確保
- 漁船、漁遊船等の適切な収容を図るため小型船だまりの整備
- 安全で安心な港づくりを目指し耐震強化施設等の充実

●係留施設（公共）

	地区名	施設名	水深（m）	延長（m）	船型（D／W）	バース数	完成年度
既 設	東地区	① 第1岸壁	-5.0	70	1,000	1	S47
		② 第2岸壁	-7.5	130	5,000	1	S47
		③ 第3岸壁	-5.0	70	1,000	1	S46
	大節地区	⑤ 第5岸壁	-5.5	194	2,000	2	S42
		⑥ 第6岸壁	-7.5	150	5,000	1	S42
		⑦ 第7岸壁	-7.5	152	5,000	1	S37
		⑧ 第8岸壁	-6.6	102	3,000	1	S15
	漁港地区	第1岸壁	-5.0	450	1,000	5	S54
計 画	東地区	⑨ 第9岸壁	-10.0	240	13,000 (GT)	1	
		⑩ 第10岸壁	-12.0	260	50,000	1	
	西地区	⑫ 第12岸壁	-5.5	200	2,000	2	